

鷺宮小学校・西中野小学校 統合委員会ニュース



第 2・3 合併号

発行：鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会

このニュースは、「鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会」における協議の状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行しています。今号は、8 月 30 日に開催された第 2 回統合委員会と、10 月 9 日に開催された第 3 回統合委員会における協議の概要をお知らせします。

新校舎の整備について協議

※新校舎整備の基本的な考え方は最終面

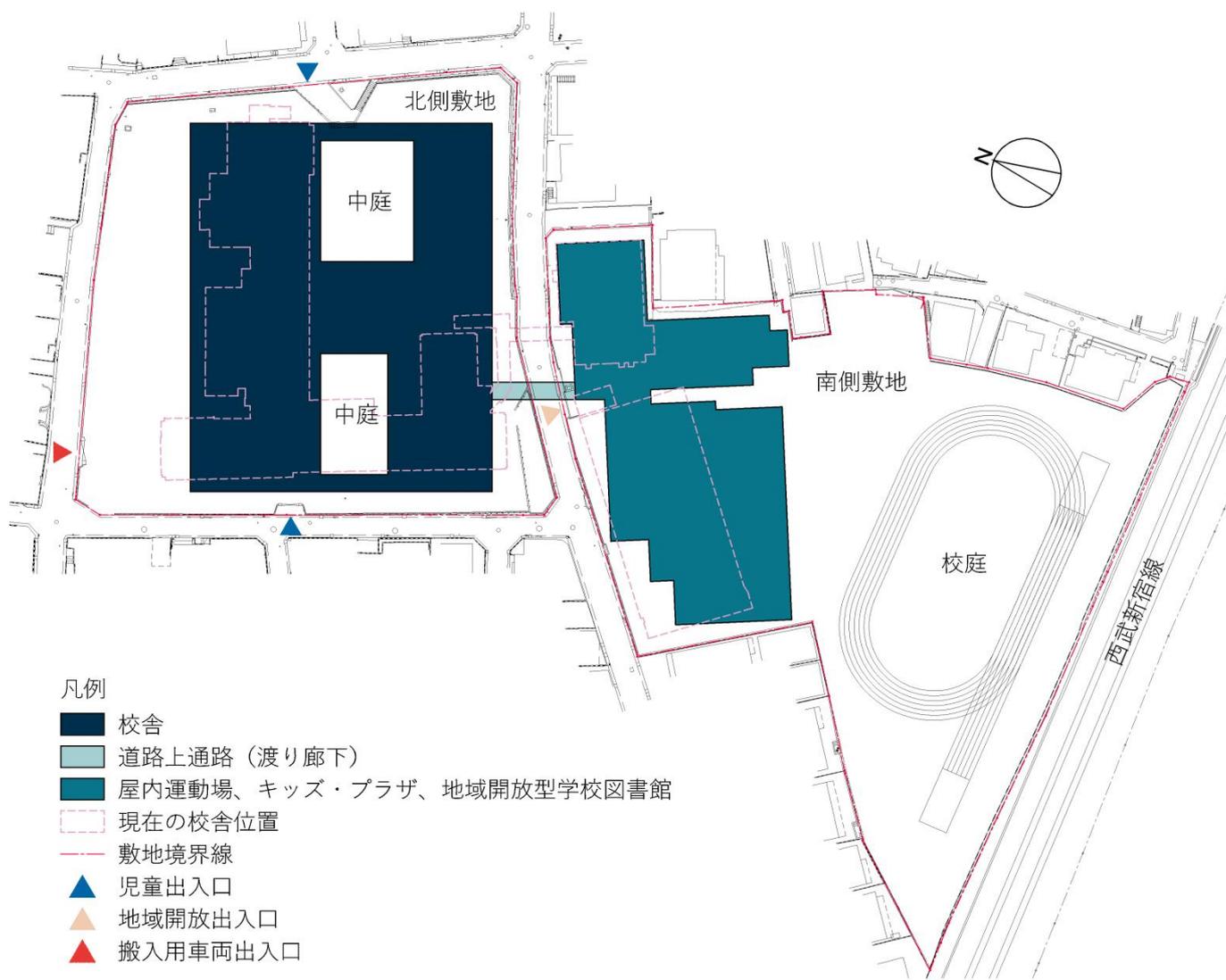
第 2 回の統合委員会では、中野区立小中学校施設整備計画について説明がありました。第 3 回の統合委員会では、第八中学校の位置に建築する統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について協議しました。次回は、協議で出た意見を反映した修正案をもとに、さらに協議を進める予定です。

第 2・3 回で出た意見（抜粋）

※新校舎の配置イメージは中面

- ・ 校庭を幅広く整備してほしいので、全ての建物を南側敷地か北側敷地に集約することはできないか。
- ・ 学校敷地内に公道があり、校舎と校庭が離れるレイアウトは児童の安全確保を考えると問題があるのではないか。
- ・ 集会やその他行事等、全児童が一斉に渡り廊下を通ることがあるため、通行に配慮し、幅が広い渡り廊下かもう一つ渡り廊下を設置してほしい。
- ・ イメージ①、②共に普通教室と校庭の間に開放施設があり、児童が校庭へ出るための動線が長くなっているので、もっと校舎と普通教室の間を短くする設計にしてほしい。
- ・ イメージ①について、校庭や体育館での集会だと移動時間がかかってしまうため、中庭を集会が行える広さにすることはできないか。
- ・ イメージ②の場合、校庭と民家が近いため、児童の声等の苦情が入る可能性がある。
- ・ 運動会等の行事で、校庭や屋内運動場での楽器演奏を行う機会があるため、音楽室から校庭・屋内運動場への楽器運搬についても配慮した設計をしてほしい。
- ・ ここ数年でランドセルのサイズが少し大きくなっていると思う。教室には、新しい規格のランドセルでも収容できるロッカー使用スペースを確保してほしい。
- ・ 災害時の避難所として指定されることになると思うが、帰宅困難者の受け入れを含めて十分な対応ができるように考えてもらいたい。
- ・ 西武新宿線の開かずの踏切対策について、区は実情をしっかりと把握し、通学時に児童が安全に線路を越えられるよう具体的な対応を検討してもらいたい。

施設配置イメージ①



凡例

- 校舎
- 道路上通路（渡り廊下）
- 屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館
- 現在の校舎位置
- 敷地境界線
- ▲ 児童出入口
- ▲ 地域開放出入口
- ▲ 搬入用車両出入口

■建物配置特徴

【校舎・校庭】

- ・ 北側敷地に校舎を配置。（普通教室を東・南向きに配置）
- ・ 南側敷地の南側（西武新宿線側）に校庭を配置。

【地域開放施設（キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館、屋内運動場）】

- ・ 南側敷地の北側に屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館を配置。

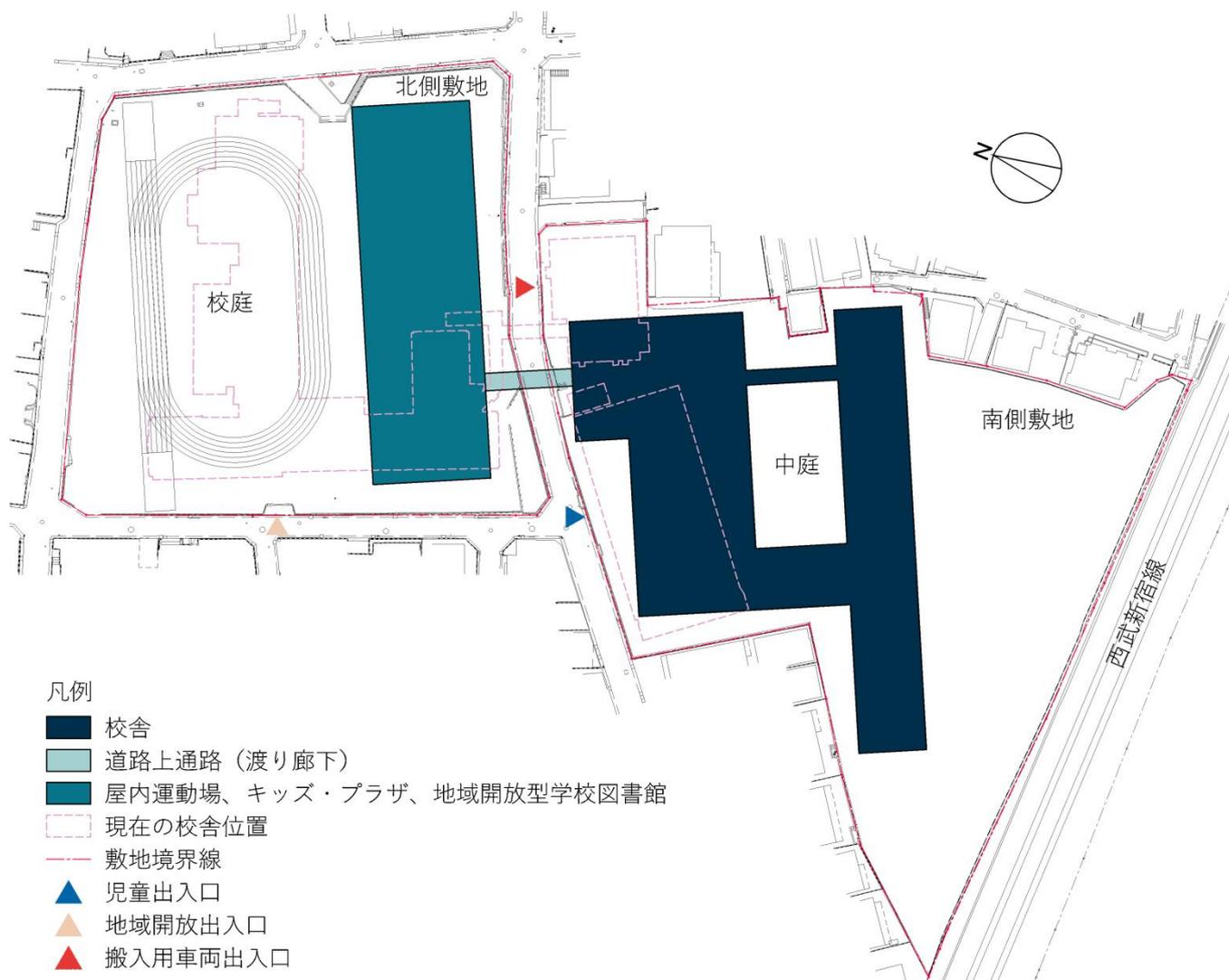
【メリット】

- ・ 敷地特性を生かし、校舎と地域開放施設を別の敷地に設けることで、セキュリティ管理を徹底できる。（イメージ②共通）
- ・ 全ての普通教室を東・南向きに配置出来ることから、採光を確保できる。（イメージ②共通）
- ・ 校舎を口の字型にすることにより、回遊性のある廊下が設けられる。（イメージ②共通）

【デメリット】

- ・ 普通教室から学校図書館への動線が長くなる。

施設配置イメージ②



■ 建物配置特徴

【校舎】

- ・ 南側敷地に校舎を配置。(普通教室を東・南向きに配置)
- ・ 南側敷地の北側に校庭を配置。

【地域開放施設 (キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館、屋内運動場)】

- ・ 北側敷地の南側に屋内運動場、キッズ・プラザ、地域開放型学校図書館を配置。

【メリット】

- ・ 南側敷地に第2校庭の整備が可能

【デメリット】

- ・ 普通教室から校庭への動線が長くなる。
- ・ 校舎が西武線に近くなるため、音・視覚刺激の影響が大きい。
- ・ 第1校庭が高地となり、視認性に課題がある。

新校舎整備の基本的な考え方



- (1) 多様な学習環境を可能にし、地域活動の拠点となる施設の整備
 - ・ 利便性（校舎と校庭の一体的活用）や安全性（昇降口の混雑解消）等を考慮し「※1 一足制」を導入
 - ・ 地域の拠点として利用しやすい施設（※2 地域開放型学校図書館、※3 キッズ・プラザを併設）
 - ・ 避難所機能を考慮した防災性能の高い施設
 - ・ 少人数指導やグループ学習等、多様な学習形態に対応できる施設
- (2) 効率的・効果的な施設配置や施設設備の共同化
 - ・ 図書室とコンピュータ室を一体的に整備し、効果的な「学ぶ」「調べる」「伝える」学習を実現
 - ・ 西中野小学校の「しらさぎ学級」（特別支援学級）について、引き続き適切な指導を行えるように配慮
 - ・ 道路を挟んだ校地形状を踏まえ、児童の遊び場としての中庭等、効果的な学習環境の整備を検討
- (3) 今後の教育環境や社会状況の変化に対応できる学校施設の整備
 - ・ 今後の情報教育の進展を見据えた ICT 教育環境を整備
 - ・ 緑化・自然エネルギーを活用した省エネ型の施設
 - ・ 機能を集約し、ライフサイクルコストを抑えた維持管理しやすい施設
 - ・ 既存の規模と同等以上の屋内運動場・校庭を確保
- (4) 快適で安全かつ安心な施設環境の確保
 - ・ 児童が快適に過ごせ、異学年交流が行えるように配慮
 - ・ 不審者の侵入防止・外部からの視線対策等、十分な安全・防犯対策
 - ・ 子どもから高齢者、障害のある人まで、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン
 - ・ 地域開放型学校図書館やキッズ・プラザ等、学校と異なる管理主体を施設構成に含めることに配慮した設計

※1 一足制

校舎と校庭を一体的に活用できるように、上履きを使わずに施設を利用すること。導入にあたり、校庭を人工芝等で整備します。

※2 地域開放型学校図書館

学校図書館部分と地域開放部分から成る図書館。学校図書館部分は、授業時間中は学校の専用となりますが、放課後や学校休業日に区民の方が利用できます。また、地域開放部分は区立図書館と同様に区民の方が利用できます。

※3 キッズ・プラザ

放課後子ども教室。放課後や学校休業日に、小学生が安全に過ごし、遊べる施設。今回整備するキッズ・プラザには、活動室、学童クラブを併設し、乳幼児親子の交流や子育て相談ができる子育てひろば事業も実施します。

鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会ニュース
編集・発行：鷺宮小学校・西中野小学校統合委員会
事務局：中野区教育委員会事務局学校・地域連携担当
TEL：03-3228-5548 FAX：03-3228-5679

次回の統合委員会は
11月12日(月)
に開催する予定です。



※ 統合委員会の会議要旨は、区役所5階教育委員会事務局学校・地域連携担当または教育委員会ホームページでご覧になれます。

～～*鷺宮小学校と西中野小学校は平成35年度（2023年度）に統合する予定です *～*～*